



第1期助成プログラム 募集要項

JWLI Women's Fund は、日本でジェンダー平等の推進と長期的な社会変革に向け、女性主導またはジェンダー課題に取り組む非営利団体を支援する助成プログラムです。私たちは、地域課題に最も近い立場にいるリーダーこそが、変革を生み出す力を持っていると考えています。JWLI Women's Fund では、信頼に基づく資金提供（トラスト・ベースド・フィランソピー）を土台に、組織基盤強化とエコシステム形成を通じて、団体とリーダーの成長を後押しします。

ミッション

女性リーダーの可能性を最大限に引き出し、資金支援・組織基盤強化・エコシステム形成を通じて、持続可能な社会変革を加速させます。

私たちのアプローチ



JWLI Women's Fund は、3つの柱を軸として社会変革を推進します。

1

共同助成



複数の資金提供者が共同で、複数年・幅広い用途に活用できる助成金を提供します。

2

組織基盤強化



リーダーと組織が成長する機会を提供し、伴走支援を行います。

3

エコシステム形成



分野や地域を越えた学び合い・協働・ネットワークづくりを促進します。

1. 設立趣旨

日本には、女性やジェンダーに関わる課題に向き合い、公的制度では十分に支えきれない人々のニーズに応え続けている団体が数多くあります。私たちは、社会を変える力は、そうした現場にこそ存在すると信じています。

日本のソーシャルセクターでは、女性がリーダーを務める割合が高く、NPO 法人代表者の約 45%を占めています。¹しかし、多くの団体は慢性的な資金・人材不足に直面し、その結果リーダーは本来の力を十分に発揮できていません。また、女性や少女を支援する団体への資金は、世界全体の寄付総額の約 2%にとどまり²、日本のジェンダー・ギャップ指数も 148 か国中 118 位（2025 年）³と、ジェンダー平等の実現にはなお大きな課題が残されています。

私たちは、信頼に基づくフィランソロピー（トラスト・ベースド・フィランソロピー）の考え方のもと、複数年度・柔軟に活用できる助成に加え、リーダーシップ育成やネットワーク形成を通じて、女性リーダーやジェンダー平等に取り組む団体の持続可能な成長を支えます。

JWLI が 20 年以上にわたり培ってきた女性リーダー育成の知見と国内外のネットワークを生かし、一人ひとりのリーダーとその組織の成長を支えるとともに、女性リーダー同士が学び合い、支え合い、新たな協働が生まれるエコシステムを育みます。

私たちは、女性リーダーへの投資がより大きな社会変革につながると信じ、その変化の波を日本中へ広げていきます。女性リーダーへの投資は、より大きな社会変革につながる。その変化の波を、JWLI Women's Fund は日本中へ広めていきます。

2. 対象団体

日本国内で女性が主導する、またはジェンダー平等の推進に取り組む非営利法人

3. 対象分野

- 経済的自立と機会の拡大
- 安心・安全・健やかな暮らしの促進
- 市民参画と多様な声が生かされる社会の実現
-

4. プログラム期間

2 年間

¹ [NPO サポートセンター『NPO Leadership White Paper 2023』（2025 年公開）](#)

² [The Bridgespan Group. High-Impact Philanthropy: Giving Better Across Asia and the World.](#)

³ [World Economic Forum. Global Gender Gap Report 2025](#)

5. 助成金

1 団体あたり年間 250 万円（総額 500 万円）

※助成金額は募集要項に記載の金額を目安とします。審査の結果や事業の内容に応じて、助成金額を調整する場合があります。

6. 支援内容

助成金に加え、組織基盤強化・リーダーシップ育成・学び合い・ネットワーク形成を提供

7. 助成の特徴

団体のニーズに応じて柔軟に活用できる助成

※ただし、法人の赤字補填にはご活用いただけません。

8. 採択予定団体数

14 団体（予定）

9. スケジュール

2026 年 8 月 5 日（水）～9 月 13 日（日）23:59	応募受付
2026 年 9 月 13 日（日）～9 月 30 日（水）	書類審査
2026 年 10 月中旬～下旬	面接
2026 年 12 月	助成先団体発表
2027 年	助成 1 年目
2028 年	助成 2 年目

※審査結果はメールにて通知いたします。

10. 応募方法

応募フォーム：<https://forms.cloud.microsoft/r/6A41sC4ifi>

※応募フォームの内容は、この募集要項の一番最後にあります。各設問への回答をワードファイル等でご準備いただいた上で、フォームへの記入をお勧めいたします。

11. 選考基準

- リーダーのビジョンと熱意
- 取り組む社会課題への理解の深さ
- 活動による変化や成果の可能性、さらなる発展性
- 支援を活かしながら組織や活動を発展させようとする意志と実行力
- 課題の背景にある社会構造や仕組みに変化を生み出す可能性

12. お問い合わせ

<https://forms.cloud.microsoft/r/SxPeh5hNaM>

一般社団法人 JWLI Ecosystem

JWLI Women's Fund 事務局

13. よくあるご質問

Q1. コンソーシアムでの応募は可能ですか？

A1. はい。ただし、申請団体は非営利法人格を取得している団体となります。申請団体以外の団体の法人格の制限はありません。営利法人や任意団体との連携もちろん可能です。

Q2. 法人格は必須ですか？

A2. はい。非営利法人格を取得していることが必須です。株式会社等の営利法人や法人格のない任意団体等は対象外です。また、一般社団法人の営利型は含まれません。ただし、申請団体が非営利法人であれば、コンソーシアム型で営利法人等が協働するプロジェクトも応募を歓迎しておりますので、ぜひご確認ください。

Q3. 団体規模や活動年数に制限はありますか？

A3. 特にありません。募集要項に記載がないものは基本的に制限がないとお考え下さい。

Q4. 組織基盤強化はどのようなことを行いますか？オンラインで行いますか？実施する時間帯はいつになりますか？

A4. 採択された団体のニーズに合わせて内容を調整し、オンライン・対面などで行います。実施する時期や時間帯等も採択された団体と調整をして決定いたします。

Q5. 採択団体は JWLI のウェブサイト等で公開されますか？

A5. はい、ウェブサイトにて採択団体の情報を掲載する等を行います。

Q6. 面接は対面ですか？

A6. いいえ、オンラインで行います。書類審査の終了時点で、次の審査に進む団体にはご連絡をいたしますので、オンライン面接の日程を調整することになります。

応募フォームの内容

セクション 1 : 団体概要

1. 団体名（法人格から記載してください）
2. 設立年（西暦で記入してください）
3. 現法人格取得日
4. 代表者（肩書および氏名）
5. 事務局責任者（肩書および氏名）
6. メールアドレス（審査結果の連絡等に使用します）
7. 登記住所（郵便番号・都道府県から記載してください）
8. 電話番号
9. 団体ウェブサイト
10. 以下のうち、当てはまるものを選択してください。
 - ☐ 女性が代表を務める団体
 - ☐ 女性・少女やジェンダー平等を主な活動対象・目的とする団体
 - ☐ 上記の両方に当てはまる

セクション 2 : 各種資料のリンク

Google ドライブや One Drive など、以下の資料が閲覧可能なウェブページのリンクもしくは共有可能ファイル／フォルダのリンクを回答欄に記載してください

11. 定款
12. 直近の財務諸表（①活動計算書（正味財産増減計算書）②貸借対照表 ③財産目録 ④注記、またはそれに準ずる資料）
 設立して間もない団体は予算書を提出してください。
13. 直近の活動報告書（活動の全体がわかるもの）
 設立して間もない団体は、活動計画書を提出してください

セクション 3 : 団体の活動について

14. 団体のミッション（100 字以内）
 団体が社会において果たそうとしている使命や役割。社会においてどのような存在でありたいか、どのような価値を生み出したいか。
15. 活動拠点

16. 活動の背景と内容（600 字以内）

どのような社会課題を、どんな手法で解決しようとしていますか。受益者は誰ですか。具体的に、**どんな活動を、なぜ、どのように**行っているのか、活動規模など数字も交えて教えてください。

17. あなたの団体や活動の強み／特徴

パートナーシップ、スタッフの専門性、活動内容の独自性など、他の団体にはない強みや特徴について教えてください

18. 活動していくうえで組織として直面している課題は何ですか？

- ☐ 継続的で柔軟な資金の不足
- ☐ 資金調達や助成金の情報を持っていない
- ☐ 取り組んでいる社会課題自体が資金が集まりにくいテーマである
- ☐ スタッフへの報酬が確保できていない／無償ボランティアに依存している
- ☐ スタッフの定着率が低い
- ☐ スタッフのバーンアウトなど消耗が激しい
- ☐ 外部の協力を募ったり、協力してもらうことが難しい
- ☐ 活動をするうえでスタッフの身体的安全を確保するのが難しい
- ☐ オンラインでの誹謗中傷や外部からのハラスメントがある
- ☐ 組織の管理部門やガバナンスの強化
- ☐ 世代間の分断や組織内での世代の隔絶がある
- ☐ PR やブランディングといった外部へ発信する力が弱い
- ☐ 事業の成果などを測る仕組みがない／そのための予算が確保できない
- ☐ その他

セクション４：助成金活用について

19. 助成金活用概要（800 字以内）

- ①なぜ、何のために、助成金を活用しますか。
- ②助成金は具体的に何費に充てられますか。
- ③助成期間（2027 年 1 月～2028 年 12 月）が終わるときにどのような状態を目指していますか。成果をどのように測ることができそうですか。
- ④助成期間においてどのようなリスクや挑戦がありそうですか。また、それをどのように乗り越えられるでしょうか。

20. 助成金活用の内訳

2027 年 人件費 ○○万円、旅費 ○万円、広告費 ○万円

2028 年 人件費 ○○万円、旅費 ○万円、広告費 ○万円

のように、主な項目と大まかな金額のみで構いません。

セクション 5 : JWLI Women's Fund のプログラムについて

私たちは、この助成を「資金を届ける場」ではなく、「共に学び、共に成長し、日本の女性リーダーを支えるエコシステムを育てる場」と考えています。以下の質問では、本プログラムへの期待や、このコミュニティの一員としてどのように関わっていきたいかをお聞きます。

21. JWLI Women's Fund に期待することを教えてください。

- ☐ 資金
- ☐ 他団体とのつながり
- ☐ 学び・研修
- ☐ メンタリング
- ☐ 組織基盤強化
- ☐ アラムナイコミュニティ
- ☐ その他

22. 採択された場合、このコミュニティの一員として、あなたの経験や学びをどのように他の団体や地域と共有し、広げていきたいですか。（300 字程度）

23. 【その他】私たちに知ってほしいことがあれば自由に教えてください。

以上